



特別  
ハ 5  
3222





大悲神咒



Handwritten text in vertical columns, likely a Buddhist sutra or咒语 (mantra), written in a cursive style with red dots marking specific characters.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page. Each line contains a series of connected, stylized characters, some of which are marked with small red dots. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. The text is written in black ink on aged, yellowish paper. The lines are roughly parallel and fill most of the page area.

るなりとも二とやうも二とよむあり  
らやせも二とよむとてさうも二とよむ  
も二とよむとてさうも二とよむとて  
とやえぬ二とよむとてさうも二とよむ  
も二とよむとてさうも二とよむとて  
らも二とよむとてさうも二とよむとて  
かたんあふとてさうも二とよむとて  
ちあふとてさうも二とよむとて

南無千手千眼觀世音菩薩廣大圓  
滿無礙大悲心陀羅尼神妙章句誦

神呪種種各有

一 廣大圓滿トナツク

一 救苦陀羅尼ナツク

一 滅惡趣陀羅尼

一 滿願陀羅尼ナツク

一 速超上地陀羅尼

一 無礙大悲トナツク

一 延壽陀羅尼ナツク

一 破惡業障陀羅尼

一 隨心自在陀羅尼

如是受持ス佛阿難  
告ク探索ス千光眼トナツク

頂上化佛モウロウケイブツ



十方トナツク

摩頂授記モウジウケキ

がたぢよト頂上

化佛カクワと秘人

トトナツク

宝戟ホウキ



他方タカにニおす人ト

よりヨリぞけテ盗人

にニんノものト

えニたぢよト宝

戟キにニとトむカ

ワトそトむトナツク

生ナれト諸佛トとトなス

ぬレ法中トよク生マりトすトねガい

サシハシ化佛トとト秘人トとトむト

錫杖しやくぢゆう



むひりてこい  
まをまうとねん  
まのりこいせん  
あうぢーとせん  
錫杖はまをせん  
しとよじへー

月精げっしやう 摩尼まに



ゆうぢはこい  
ましとせん  
りまの月精摩  
尼はまをせん  
ていもー

日精摩手尼にっしやうまてに



まをせん  
しとよじへー  
おれはせん  
まを日精摩  
尼はまをせん  
しとよじへー

如意珠にぎぎ珠



まをせん  
うんがせ  
いしとせん  
まを日精摩  
尼はまをせん  
如意珠はまをせん  
しとよじへー

宝篋



地中よびたる  
うづまかうしを  
きくくくを  
こぼりし  
てたつひも  
またよふ宝篋  
よびたる

宝鐸



口はんとく  
おんま  
おんま  
宝鐸よびたる  
し

化宮殿



生きたる佛宮  
殿中よびたる  
ぼんま  
け  
化宮殿よび  
ゆん

宝經



多中廣学  
た  
た  
よびたる



紅雲ベニクモ



仙人セウジン

如ごとたぢよよ五色イロイロ  
花はなははとと縁縁  
人ひと一ひととと下下

青蓮アヲレン花はな



十じゅう方ほう花はな浄じやう土どよよ  
ををよよととううととん  
ととたたぢよよ青アヲ蓮レン  
花はなははとと縁縁  
人ひと一ひととと下下

紫蓮ムラサキレン花はな



ままははああららううよよ  
十じゅう方ほう二に切きり乃のままよよ  
ぢぢよよととううととんん  
ととたたぢよよ紫ムラサキ蓮レン  
花はなははとと縁縁  
人ひと一ひととと下下

俱クニ戸コ鑲テツ鉤カウ



若わか神かみ新あらた王わう  
つつよよととううととんん  
ととままああららううととんん  
ととんんななととううととんん  
ととんん思おもふふ俱クニ戸コ  
鑲テツ鉤カウははとと縁縁  
人ひと一ひととと下下

宝劔



一切水神山  
神杖たご  
とがごご  
さいあかん  
すも思り宝  
劔れまご  
んトよむア

不退金輪



今身より  
方よごり  
ぼごい  
またい  
仙果を  
さかん  
不退金輪  
とれん

宝鏡



大り思  
思々宝鏡  
とれん  
ア

骨髑枝



一切鬼神  
とれん  
骨髑枝  
とれん  
ア

斧鉄



一切れ 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄  
はらうて 斧鉄

跣折羅



一切れ 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅  
はらうて 跣折羅

蒲萄



一切れ 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄  
はらうて 蒲萄

宝螺



一切れ 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺  
はらうて 宝螺

空弓カラウキウ



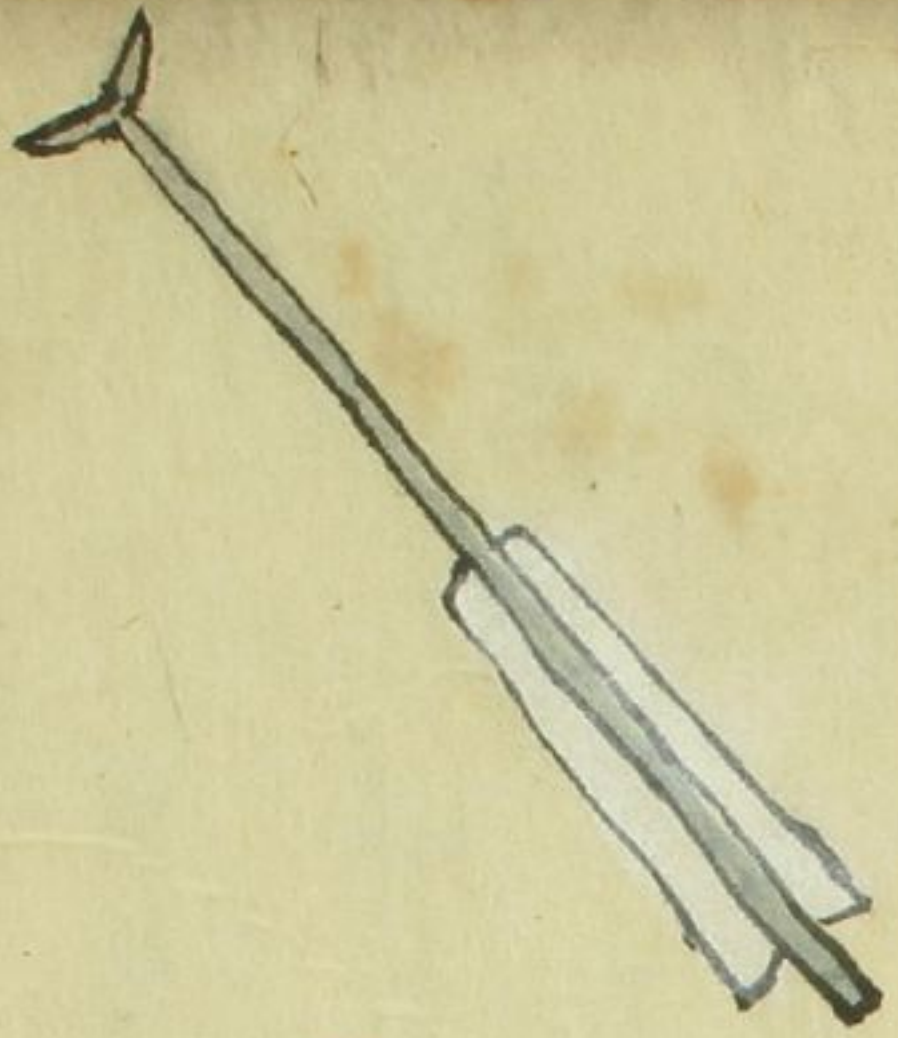
今一はのびり象  
 空をまんじ思  
 の空弓のそと様  
 人ーとよむア

金剛杵コンガウキョ



一はれん  
 どのまに地を  
 さいざーと  
 のぞくんたあま  
 金剛杵のま  
 人ーとよむア

宝箭ハウゼン



よむア  
 まんじ思  
 空をまんじ思  
 の空箭のそと様  
 人ーとよむア

旁解ハウゲ



一はれん  
 どのまに地を  
 さいざーと  
 のぞくんたあま  
 金剛杵のま  
 人ーとよむア

宝印 ほういん



言と出すに人  
とわと結りし  
世よまこれたく  
こゝろしとこ  
ありふくしんす  
とわくろく宝印の  
まよはんーと  
ア

数珠 じゆ



十方れきよ  
ぶらすまや  
くまふたつ  
てんまおづ  
けんちびん  
るまねうて  
数珠のよま  
いよいー

白拂 はくほり



才上れらふ  
んどのぞん  
ためよ白拂  
れよよじら  
てよいー

玉環 たまわん



ねまおま  
れやうこ  
まごらつら  
ねんまお  
まご玉環れ  
まよはんー  
てよいー

揚柳枝 ヨウリウジ



きり方上  
乃まろく乃  
やまひもや  
さんとおも  
く揚柳枝  
まよめん  
てよむア

胡瓶



まよめん  
ど結和合  
し心此  
まよめん  
ねろく胡瓶  
まよめん  
てよむア

軍遅 グンヂ



梵天よ生れ ボントウ  
んとおも  
軍遅此  
まよめん  
てよむア

羅索 ラソク



まよめん  
おんおん  
今し心  
何々羅索  
まよめん  
てよむア

施云畏



着一切れと云  
よおられけりて  
ふらんおん  
ハ施云畏は  
あかんてい  
むー

合掌



合掌  
よまひ  
あかん  
おの合掌  
のあかん  
てい

紅蓮花



あかんてい  
宮よあかん  
あかん  
ハ紅蓮花は  
あかん  
あかん

白蓮花



あかん  
あかん  
ハ白蓮花の  
あかん  
あかん

宝珠



うららら...と後く  
れやまの部とやき  
んととく宝珠の  
ももあ人...とむ  
↑

大永二壬三月廿一日

於宝前

佛心公堂謹記





